**【2014年度】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 様式4　基礎科目c領域実験・実習課題リスト※可能な限り空欄を埋めて下さい①科目名②担当者③実験実習の内容項目④授業時間（分） | ⑤レポートについてa.目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートを　　　授業外に作成して提出b.目的、方法、結果、考察を含む標準的レポートを　　　授業中に作成して提出c.上記以外のレポート（感想文等）を提出d.レポートなしe.その他（③の空欄に具体的に記述する） | ⑥実験・実習におけるあなたの役割A.実験者と参加者（協力者）の両方になったB.実験者だけになったC.参加者（協力者）だけになったD.実験者にも参加者（協力者）にもならなかった |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **①科目名** | **②担当者** | **③実験・実習の内容項目** | **④****授業時間** | **⑤****レポート** | **⑥****役割** |
| **（例）****社会心理学実習** | **日心太郎講師** | **・情報の伝達と変容****・パーソナルスペース****・****・** | **90分****180分****・****・** | **b****a****・****・** | **B****C****・****・** |
| 心理学基礎実験Ⅰ | （2015）多田美香里准教授石橋遼兼任講師木村年晶兼任講師 | ・触2点閾の測定（１）～（４）・系列位置効果（１）～（４）・知覚運動学習（１）～（４） | 360分360分360分 | aaa | AAA |
| 心理学基礎実験Ⅱ | （2015）多田美香里准教授木村年晶兼任講師 | ・SD法によるイメージの測定と比較（1）～（４）・ミュラー・リヤーの錯視（1）～（４）・行動観察（1）～（４） | 360分360分360分 | aaa | AAA |
| 心理学調査実習Ⅰ | （2016）宇惠弘教授 | 質問紙調査法とは／他の研究法と比較して項目作成の基礎（１）～（３）回答方法選択の基礎フェースシートの作成サンプリングの方法、調査の実施方法調査倫理の問題資料の整理（１）～（３）項目分析（１）～（４） | 90分270分90分90分90分90分270分360分 | dccccdcc | DBBBBDBB |
| 心理学調査実習Ⅱ | （2016）宇惠弘教授 | オリエンテーションMS-Excelと解析ソフトの操作（１）～（２）日常的な記憶に関する実験（１）～（４）社会的促進（１）～（４）質問紙法（人格検査）（１）～（４） | 90分180分360分360分360分 | dcaaa | BBAAA |
| 臨床心理学実習Ⅰ | （2015）渡部敦子講師大西美也子兼任講師 | ・人を援助するとは・話を聴くということ・自分と相手の価値観を理解する・話を進めるための援助・非言語的なコミュニケーションの理解・言語的な技法について・事例について考える・傾聴の演習①～⑥ | 90分90分90分90分90分90分90分540分 | cccccccc | DDDDDDDA |
| 臨床心理学実習Ⅱ | （2015）三田村仰講師大西美也子兼任講師 | ・アサーションとは・上手に断る・上手に頼む・ありがとうと褒め言葉を使う・誤解を解く，反対意見を言う・難しい対人場面での対応を工夫する・ロール・プレイ①（「いじめ」の事例）・ロール･プレイ② （「虐待」の事例）・ロール・プレイ③（「不登校」の事例）・ロール・プレイ④（「発達障害」の事例）・臨床心理学的面接の振り返り | 90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分90分 | ccccccccccc | DDDDDDAAAAA |
| 臨床心理学実習Ⅲ | （2016）谷向みつえ教授 | ・学外現場実習①・カンファレンス（1）・学外現場実習②・カンファレンス（2）・学外現場実習③・カンファレンス（3）・学外現場実習④・学外現場実習⑤・カンファレンス(4) | 90分90分90分90分90分90分90分90分90分 | ccccccccc | AAAAAAAAA |
| （2016）久保信代准教授 | ・SST①②③（コミュニケーションに関わるソーシャルスキル）・カンファレンス①：SSTプログラム参加へのふりかえり・SSTのプログラムの作成①②・SSTプログラムの実践①②③・カンファレンス②：SSTプログラム指導者としてのふりかえり | 270分90分180分270分90分 | ddddd | AAAAA |